

泌尿器科の男子不妊・更年期外来のお話

平成19年9月より**男子不妊・更年期外来**を**第1**および**第3**月曜日の午前に始めました。“そんなの関係ない”と思う方が多いかもしれませんが、少し読んでみてください。(泌尿器科部長：北原聡史)

男子不妊

★ 不妊について…結婚して子供がほしいと思っても1年以内に子供に恵まれないカップルは不妊と考えられ、約15%という高率です。半数は男性が原因です。原因不明のことも多く、最近ではすぐに体外受精をする場合もありますが、男性不妊にはいろいろな病気が隠れていることがあり、なかには手術で改善するものもあります。

当院では、男性不妊の原因を精査し、泌尿器科的原因とわかれば治療を行います。

男子更年期

★ 男子更年期とは…現在では「LOH 症候群」(遅発性精巣機能不全症候群)と呼ばれています。中年になり元気が出ない、性欲が低下した、などを症状とするもので、男性ホルモンの低下によると考えられています。以前はすべて初老期のうつ病だとする研究者もいましたが、現在では生活の質(QOL)が重視されるようになり、疾患として認められています。

(個人差はありますが、性機能は正常男性でも概ね25歳頃を頂点にして年齢を増すごとに少しずつ低下します。)

このような症状が現れ、男性ホルモンが著しく低下した男性に対して、男性ホルモンを補充する方法は、日本でも一般的に行われるようになりました。男性ホルモンを補充すると骨粗鬆症の予防にもなりますが、前立腺癌の発生のチェックも必要になります。これには簡単な検査で済みます。

LOHを疑われる方は、当院で必要な検査を行い、症状に合った治療を行います。

さらに“男の子の思春期の遅れ”について

思春期になると脳から性腺刺激ホルモンの分泌が増加し、男の子の場合は、声変わりし、ひげが生えるなどして、大人の男性に近づいていきます。しかし、なかなかそうならない男の子がいます。いわゆる“おくて”とよばれるもので、16-17歳なってやっと思春期となるひともいます。しかし、18歳を過ぎても思春期が来ない場合は、将来の不妊症につながることもあり、一度受診されて検査されたいかがでしょうか。

男子不妊・更年期の疾患以外でも、思春期の遅れ(男子)など、内分泌的な男性疾患であればほとんど私に対応いたします。例外は性同一性障害で、診断や認定は他院に紹介します。

♪ お問い合わせ先 地域医療連携室 内線(2110) ♪

♪ ご希望の方には『多摩南ミ二通信』を面会受付でお渡ししております。 ♪

